

第64号

平成23年11月30日 発行

編集・発行

(社)新潟県サッカー協会広報委員会



NiFA NEWS

全国高校サッカー選手権 新潟県大会決勝

新潟西高校2連覇!!

新潟西 (3-0) 帝京長岡



全国大会への抱負

新潟県立新潟西高等学校

サッカー部監督 成海 優

母校新潟西高校サッカー部史上初となる選手権大会連覇を達成することができ、ご支援、ご協力いただいた学校関係者、後援会、OBと、準決勝までは自分たちの目指すサッカーができず、苦戦の連続でした。決勝の大舞台で西高らしいサッカーが発揮できたのは、今年の選手権優勝と、全国大会での経験が、大りな忘れずに、全力で闘ってきました。今後とも、ご声援よろしくお願ひ致します。

「ず」の精神で、選手たちと共に努力していきたいと思ひます。今年夏はインターハイで新潟明訓高校が、ベスト8進出を果たし、新潟県存在を示してくれました。プリンスリーグでも新潟県のチームが上位を占めています。全国の舞台で新潟県の代表としての誇りを忘れずに、全力で闘ってきました。今後とも、ご声援よろしくお願ひ致します。

新潟県立新潟西高等学校

サッカー部主将 山川 翔也

私たち新潟西高校サッカー部は、全国大会出場を目標に厳しい練習や試合に耐えてきたわけではありません。全国大会でのベスト8進出実現のため努力を続けてきました。決勝の対戦相手は夏のインターハイ予選で敗れた帝京長岡高校でした。夏の借りを返したい。リベンジのため、ピッチに立った選手はもろろん、チーム全員が一丸となって戦い、全国大会の切符を手に入れることができました。幸運にも優勝することができましたが、多くの課題も残りました。本大会までの1ヶ月間

で技術面の向上と戦術面での修正、理解を深め自信を持って目標にチャレンジしたいと思ひます。今大会を通じて、これまで切磋琢磨しながら私たちが成長させてくれた多くのライバル校や、声を枯らしながら応援してくれた方々の熱い思いを実感しました。私たちは新潟県代表として、この思いをエネルギーとして全力で戦いたいと思ひます。そして、試合に勝つことで皆さんに恩返ししたいと思ひます。これからも、応援よろしくお願ひ致します。



ジャーナリスト

「牛木素吉郎」氏

日本サッカー・ミュージアム 殿堂入り

牛木氏は、県立「東京ヴェルディ」の新潟高校出身で、前身である「読売クラブ」の設立を手掛けた。その間サッカー部で活躍、卒業後、東京大学に入学し元日本サッカー協会会長・岡野俊一郎氏等とともに大学の歴史をはじめ様々な形で世界のサッカー事情を日本に紹介するともに、ワールドカップ新潟県準備

また、Jリーグドカップ新潟県準備 当サッカー協会と



1945年、敗戦の年に中学1年生で戦中禁止されたスポーツがたちまち息を吹き返した。野球部、テニス部などは、すぐに復活したように記憶しています。しかし、その当時、サッカーというスポーツは新潟では、ほとんど知られていませんでした。サッカーを知ったのは、県立新潟中学(旧制)3年生のときです。中国の青島(チンタオ)から引き揚げてきた花井進くんが教室で黒板に図を描いてルールを同級生に教えました。花井くんは現在も千葉県の柏で子どもたちを指導しています。60年前には、まったく「サッカー不毛の地」だった新潟のいたるところでボールを蹴る光景が見られ、ピッチに書かせてもらえたのは、ベースボール・マガジン社創設者の池田恒雄社長(当時)が新潟出身だったおかげです。中学生のときにサッカーを教えてくれた同級生に始まって、現在に至るまで、新潟の皆さんのご協力でサッカーに縁のある仕事に携わることができました。ワールドカップ開催のとき、あるいはアルビレックス新潟立ち上げのときには、微力ですが新潟のために恩返しをしようと協力しました。新潟県内のいたるところで、男の子も女の子もサッカーを楽しむようになること、それが現在の望みです。

山口国体 結果報告

成人男子

監督 辛島 啓珠

成人女子

監督 田邊 友恵

少年男子

監督 最所 順之

新潟県成年男子は、JAPANNサッカーカレッジの選手で全て構成され、昨年度本大会出場を逃したこともあって今年度はなんとしてもベスト4に入ることを目標に山口へ向かいました。初戦、東海地区代表の静岡県選抜と戦い、相手に退場者が出たことや、PKを与えながら失点を免れるなどラッキーな面もあって、4対0というスコアで勝利をすることが出来ました。しかし、続いての準々決勝では東北代表の秋田県選抜と戦い、0対3というスコアで完敗となりました。秋田県選抜はほぼブラウブリッツ秋田の選手で構成され、我々よりも上のカテゴリーのチームであり、個々のポテンシャルでの違いを感じさせる試合内容となっていました。残念ながらも、目標には到達しませんでした。若い選手、チームが経験したことは大きな財産で、来年度以降もより良い結果を残せるように日々の積み重ねを重視して頑張ってくださいと思います。

日頃から女子サッカーの活動にご理解とご協力を頂きまことにありがとうございます。新潟県女子チームは選抜チームとして2年目になります。昨年からの継続として「チームワークを作る」ことを忘れず、守備面での共通理解を中心としてトレーニングを行いました。サッカー女子日本代表の選手から中学3年生までと年代も異なる選手達でしたが、日を追う毎にチームとしてまとまっています。

山口国体を終えて、少年国体選抜チームは、北信越国体を勝ち抜き山口国体への出場を成し遂げ、予選を突破することで1つの目標を達成することができました。しかし、国体選抜チームの目標は、北信越を勝ち抜くことが最大の目標ではありません。当然、全国大会に出場するのだから1試合でも多く、国体選抜チームのメンバーと試合ができる喜びを味わいたい。選手、スタッフがそのような気持ちで準備を進めてきました。

山口国体においては、北信越では通用したプレーが、全国では表現できず、自信に満ちたプレーで新潟の良さを生かすことができませんでした。また、「ここだ」という時間帯で自チームのペースに持ち込めず、相手の攻撃に耐えることができませんでした。踏ん張りどころで我慢し、流れを変えることができないのは大きな課題です。個人の力で上回る相手の攻撃をボディーブローのように感じ、時間の経過とともに主導権を握られました。やはり、それを解決するためには、個の強化が最も重要な課題であると思います。また、守備組織を理解しチーム戦術として徹底すること、時間が重要な年代であることも事実です。



山口国体においては、北信越では通用したプレーが、全国では表現できず、自信に満ちたプレーで新潟の良さを生かすことができませんでした。また、「ここだ」という時間帯で自チームのペースに持ち込めず、相手の攻撃に耐えることができませんでした。踏ん張りどころで我慢し、流れを変えることができないのは大きな課題です。個人の力で上回る相手の攻撃をボディーブローのように感じ、時間の経過とともに主導権を握られました。やはり、それを解決するためには、個の強化が最も重要な課題であると思います。また、守備組織を理解しチーム戦術として徹底すること、時間が重要な年代であることも事実です。



新潟明訓高校 北信越プリンスリーグへの昇格決める

高円宮杯U-18サッカーリーグ 2011 プリンスリーグ北信越 参入戦結果
期日 11月19・20・23日
会場 石川県和倉温泉多目的グラウンド

1回戦	新潟明訓高校 6-1	富山南高校 (富山県リーグ1位)
2回戦	" 4-0	富山国際大附属高校 (プリンスリーグ北信越2部7位)
決勝戦	" 4-0	北陸高校 (福井県リーグ1位)

第34回北信越チャレンジリーグ 2011

“長岡ビルボードFC” 来季から北信越リーグ2部へ昇格
期日 11月6日(日) 会場 奥越ふれあい公園

対戦チーム	奥越FC (福井県)	長岡ビルボードFC (新潟県)	VIENTO (富山県)	FCアビエス (長野県)	LionPower小松 (石川県)	勝点	順位
奥越FC (福井県)		3○0 1前0 2後0	4○1 0前0 4後1	2○1 1前1 1後0	4○1 1前0 3後1	12	1
長岡ビルボードFC (新潟県)	0●3 0前1 0後2		5○3 2前1 3後2	2▲2 1前2 3PK5	4○1 3前1 1後0	7	2
VIENTO (富山県)	1●4 0前0 1後4	3●5 1前2 2後3		7○6 2前2 5後4	1○0 1前0 0後0	6	3
FCアビエス (長野県)	1●2 1前1 0後1	2△2 2前1 0後1 5PK3	6●7 2前2 4後5		7○2 2前1 5後1	5	4
LionPower小松 (石川県)	1●4 0前1 1後3	1●4 1前3 0後1	0●1 0前1 0後0	2●7 1前2 1後5		0	5

シニア連盟

○新潟県チャンピオンズカップ

“ハマーズ” 優勝
ハマーズ 0:0 サッカーフォーラム長岡
PK 7:6

○北信越 (50才以上) 県予選会

“ピュアーズ50” 優勝
ピュアーズ50 4:0 M,Sea NIIGATA
※北信越 (50才以上) 出場権獲得

○北信越 (60才以上) 県予選会

“新潟四十雀60” 優勝
新潟四十雀60 4:0 新潟フェニックス2011
※北信越 (60才以上) 出場権獲得

新潟日報杯争奪

第16回新潟県女子サッカー選手権大会

“アルビレックス新潟レディースU-18” 優勝
期日 11月3日(木)
会場 三条市 月岡第一サッカー場

決勝トーナメント 決勝戦
アルビレックス新潟
レディースU-18

6 (4-0) 0
5-0

グランセナ新潟
FCレディース



第91回 天皇杯全日本サッカー選手権大会 結果報告

○日 時 11月16日(水)
○時 間 19時キックオフ
○場 所 東北電力ビッグスワンスタジアム
○結 果 3回戦
アルビレックス新潟 0-1
松本山雅FC (長野県)

新潟から世界へ!! 代表選手続々誕生

U-22 日本代表

(アルビレックス新潟所属)

鈴木 大輔・酒井 高德

ロンドンオリンピック予選 各地

U-18 日本代表

(アルビレックス新潟ユース)

川口 尚紀

(AFC U-19 選手権予選 タイ)

U-15 日本代表

(アルビレックス新潟ユース、Jrユース、グランセナ新潟 Jrユース所属)

酒井 高聖・鎌田 啓義

・前谷 崇博

代表候補トレーニングキャンプ 沖縄

※酒井 高德選手、酒井 高聖選手、鎌田 啓義選手、前谷 崇博選手については新潟県出身選手である。

◆3種◆ 高円宮杯U-15全国大会に向けて (北信越リーグ優勝)

アルビレックス新潟ジュニアユース監督 岡本 歴大

今回、高円宮杯全国大会に出場するにあたり、たくさんの方にご支援をいただき、心より感謝しております。4月から始まった北信越リーグ、最終節の10月までの間、他の大会等もありコンディション作りが大変な中、無敗で優勝できたことは、選手・スタッフ共に大きな自信となりました。そして何より、選手たちの成長を肌で感じる事ができ、大変うれしく思っています。特に精神面での成長は、リーグ戦当初の4月から比べ、最終戦の星稜中学校戦では見違えるほどでした。諦めない姿勢、勝利への執着心、勝負に対する強い気持ちを感じる事ができました。しかしその反面、リーグ戦期間中の7ヶ月間で多くの課題も出ました。個人としての細かな部分や、チーム全体としての部分。ゲームとゲームの間で修正できた部分もありましたが、まだまだ「やらなくてはいけないこと」は多くあります。全国大会までの約1ヶ月間、「やらなくてはいけないこと」を少しずつでも「やれること」に近づけていけるよう、努力につとめていきたいと思



◆1種◆ 全日本大学サッカー選手権大会への道のり —新潟経営大学—

第39回北信越大学サッカーリーグ優勝



	経営大	北陸大	星稜大	金沢大	新潟大	医福大	富国大	松本大	勝	分	負	順位
経営大	201 201	0Δ0 1Δ1	200 1Δ1	200 3Δ3	1●2 700	201 700	503 701	701 600	10	2	2	1
北陸大	1●2 1●2	200 3Δ3	301 400	0●1 500	300 700	600 403	601 700	601 700	10	1	3	2
星稜大	0Δ0 1Δ1	0●2 3Δ3	400 900	201 0Δ0	300 0●2	900 201	600 300	600 300	8	4	2	3
金沢大	0●2 1●2	1●3 0●4	0●4 0●9	3Δ3 0●1	0●4 0●1	201 201	1Δ1 2●4	300 0●1	2	2	10	8
新潟大	201 0●7	100 0●5	1●2 0Δ0	3Δ3 100	1●2 100	1●2 500	200 100	200 100	6	2	6	5
医福大	1●2 201	0●3 0●7	0●3 200	400 1●2	201 402	2●4 801	1●3 501	1300 501	8	0	6	4
富国大	3●5 1●7	0●6 3●4	0●9 1●2	1Δ1 402	201 0●5	301 0●5	1●2 0●8	1●2 0●8	3	1	10	6
松本大	1●7 0●6	1●6 0●3	0●6 100	0●3 0●1	0●2 0●1	0●13 105	201 701	1●7 701	3	0	11	7

☆女子委員会だより☆

【下越地区の活動】

女子委員会下越地区担当 繁田真名美

下越地区では、普及を目的としたイベントやフェスティバルを市町村のサッカー協会やチームの協力のもと行ってきました。特に、アルビレックス新潟レディースに御協力いただき、試合の1への注目度は高まってきています。県内前座の時間を使用したフェスティバルを実施しました。アルビレックス新潟レディースのホームゲームの際に、選手が使用する同じピッチの上でプレーし、その後はなでしこJAPANで活躍している選手たちの試合を観戦するというイベントを行いました。なでしこJAPANのワールドカップ優勝もあり、現在女子サッカーへの注目度は高まっています。県内各チームの選手たちが目標とするチームがあること。選手がいること。それだけで大きな意味があると思っています。『あの選手の使用と同じピッチの上でプレーし、その後はなでしこJAPANで活躍している選手たちの試合を観戦するというイベントを行いました。なでしこJAPANのワールドカップ優勝もあり、現在女子サッカーへの注目度は高まっています。県内各チームの選手たちが目標とするチームがあること。選手がいること。それだけで大きな意味があると思っています。』

【高校の活動】

女子委員会高校担当 小林 伸輔

現在、県内で高校女子チームがあるのは、柏崎総合、高志、高田、岡の5校です。来年度から加わった帝京長岡の5校です。北信越地域の中では最も多いチーム数となりますが、全国的に見るとやはり少ないことは否めません。また、高校登録選手は、高校に入ってから本格的にサッカーを始めた選手が過半数を占めます。そういった意味では高校での指導は、強化・育成と同時に普及の側面も大きく担うと考えています。高校女子サッカーの認知度の上昇につながることを期待しています。先の選手権大会はこれにともない、冬の開催となる予定になっています。高校女子サッカーは今、大きな過渡期を迎えていると言えます。なでしこジャパンの活躍を受けつつ、今後さらに盛り上がりつつあります。

地区協会だより

中越地区協会は柏崎・十日町魚沼・小千谷・長岡・見附・三条・吉田ととも

広範囲ではあります。日本代表の川口尚紀さん、山口国体には亀井照太さん・柳雄太郎さん(帝京長岡高校)が活躍してあります。そんな中、社会人チームでは長岡ビルボードFCが活躍しています。1989年に設立され1992年から活動により今までは県1部リーグで頑張っており、2004から2005には北信越リーグも経験しています。1部リーグでは優勝・準優勝と2年連続で輝かしい成果を出してあります。

勝4回、準優勝8回全国クラブ選手権では優勝5回北信越大会準優勝2回、そして第17回の全国大会にも出場しており中越地区を代表する社会人チームとなっています。監督もコーチもおらず練習方法は話し合い、練習場所も決まらずグラウンドがなく中学校の体育館での練習、金銭面でのバックアップもありませんが大学や専門学校チームが多い1部リーグで孤軍奮闘しております。『サッカーをしたい』気持ちは誰にも負けないビルボードFCに目を離せません。県下では一番遅れていた施設の面でも天然芝・人工芝のグラウンドが各地に出来てきており、今後はそれらの施設を拠点とした大会・教室を合同で行って行きたいと思っています。

各地域での充実した活動により今までは2・3種のチームが全国大会にも出場しており、3種のフットサルでは全国優勝・準優勝と2年連続で輝かしい成果を出してあります。

10月9日のオープニングイベントでは森民夫長岡市長及び益満隆夫長岡市サッカー協会会長の挨拶や市長による始球式などのセレモニーの後、アルビレックス新潟レディースと市内中学校とによるエキシビションマッチが行われました。午後からはキッズ・レディースを中心としたサッカークリニックがアルビレックス普及部の皆さんの指導で行われ、アルビレックスの皆さんにも参加してもらいました。さらにサイン会も行われ選手全員との交流を深めました。



平成23年度 全国高等学校総合体育大会 サッカー競技大会に参加して

2級審判員 田中 玲 匡

まず、研修会の初めに12項目の質問がありました。

- ・レフェリーを行うときにゲームで心掛けている最重要点は何か？
- ・競技規則の第5条「主審の任務」18項目の中で一番重要な項目はなんですか？
- ・ゲームコントロールする上で心掛けていることは何ですか？
- ・会場到着から試合開始までの間に心掛けていることは何ですか？
- ・主審が「監視すべきこと」「行うべきこと」をどのようにな要因に基づいて行っているか？
- ・ゲーム中に「監視すべきこと」で特に注意しなければならぬ場面はどんな場面か？
- ・判定を安定させるためにどのようなことを心掛けていますか？
- ・ゲーム中にファウルを適用した時に心掛けていることは何ですか？
- ・アドバンテージを適用した時に心掛けていることは何ですか？
- ・重大な違反、トラブ

ル、懲戒罰、アドバンテージ等の時に副審、第4の審判員はどのように心掛けていますか？

・競技者が負傷した時、最初に判断することは何ですか？また、その後の対処についてどのように心掛けていますか？

・あなたがサッカーレフェリーとして精神的に保持している理念は？

その後、動き、判定、マネジメントについて下記の指針が示されました。

・説得力あるポジショニングとそのための動き（先ずは走る）

・サッカーの理解、チーム戦術の理解、危機意識、スプリント、スタミナ、アジリティー

・一貫した的確な判定

・正當なプレー（些細な接触の見極め（ノーマルフットボールコンタクト）

・ホールディング（手が使われたのか見極め）

・危険なプレーの排除（腕や肘、スパイクの裏、過剰な力）



たので、ファウルをゲームコントロール（気持ち、スピリット）として、1ディーな試合展開、正しい再開方法など）

・競技者への対応（異議への対応（一番最初を逃すと大変）、小競り合いへの対応）

・チームワーク（主審、副審、第4の審判員との協力）

・プラクティカルトレーニング（実践的トレーニング）

10m×10mのグリッド内に5対5で選手とレフェリーが入り、選手はプッシングとホールディングをして、レフェリーがファウルかどうかを判定しました。誰が何回ファウルしたか覚えて、同じ選手が2回ファウルすれば注意、3回ファウルすれば警告、4回ファウルすれば退場、というように段階を踏んで対処することをやりました。

自分の試合でこういう経験があってもうまく段階を踏めず、何回もファウルしているのに注意、警告ができません、腕や肘、スパイクの裏、過剰な力

審判資格の更新情報

ルール講習会 やっています

サッカー・フットサル3級・4級の皆様

2012年1月までの予定で更新講習会を行います。日程が決まり次第、WEBに登録の上、NiFAのホームページでもご案内させていただきます。更新講習会を受講されないと、資格を失効してしまいますので、2012年度も登録を希望される方は必ず受講してください。

また、2011年度に初めて4級登録された方、もしくは3級に昇級された方は、更新講習会の受講は必要ありません。WEB上で「更新手続き」をしていただいて、登録費をお支払いいただく形となります。

今年度も4級の皆様には、パソコン上で講習会を受講していただくJFAラーニングを設定しますので、こちらもご利用ください。

登録された全ての審判員の皆様に資格更新の案内を送りますので、詳細をご確認ください。

審判委員会では将来のトップレフェリーの発掘、チームやサッカー関係者のルールの理解度を上げることを目的にルール講習会を開催しています。現役の国際審判員（Jリーグ副審）が最新のルールの解釈を、映像を使ってわかりやすく解説します。

種別、連盟を問わず、チーム単位でのお申し込みも受け付けております。興味がある方は、審判委員会（八木）までメールでお問い合わせください。

(mail:akane@niigata-fa.or.jp)

アクティブレフェリー募集

新潟県下で活動される審判員の方々を募集いたします。4級以上の資格をお持ちであればごなたでも結構です。公式戦等で審判をやりたい方、審判活動に興味のある方は是非審判委員会（八木）までメールでお問い合わせください。

(mail:akane@niigata-fa.or.jp)

冬の全国大会出場権獲得

- ・第90回全国高校サッカー選手権大会 12/30～1/9
12/31(土) 14:10～ 駒沢陸上競技場
新潟西高校 VS 鹿児島城西高校
 - ・第60回全日本大学サッカー選手権大会 12/18～1/5
12/18(日) 11:00～ 古河サッカー場
新潟経営大学 VS 鹿屋体育大学
 - ・高円宮杯第23回全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会 12/23～12/29
12/23(金) 13:20～ 島原市営平成町多目的運動広場A
アルビレックス新潟jrユース VS バレイアサッカークラブ U-15
- …3面に関連記事

新春・講話とトークショー

- 期 日 平成24年1月15日(日)
- 会 場 新潟グランドホテル
- 1 「日本サッカー協会殿堂入り」とい出」
〔午後2時30分～〕
牛 木 素吉郎氏
 - 2 トークショー〔午後3時〕
『ドイツW杯優勝と期待される
ロンドンオリンピック』
空(シ)ギン監督
佐々木 則 夫氏
日本代表選手 阪 口 夢 穂 選手
日本代表選手 上尾野辺めぐみ 選手
 - 3 講 話〔午後4時15分〕
『FIFA・AFCの動向と日本』
JFA副会長・専務理事 田 嶋 幸 三氏
 - 4 『アルビレックス今年度報告と
来季の抱負』
アルビレックス新潟監督 黒 崎 久 志氏
 - 5 懇談会

● ● スマイルアンドチャレンジ ● ●

当協会にご支援いただいている法人各社

TONYテレビ新潟 BSN新潟放送 新潟日報

東北電力 総合生協 新潟県信用基金協会

2007年宣言の実現のため諸事業に取り組んでいます!!

NiFA マスタープラン 2007 スタート

(株)新潟県サッカー協会は、英語名: Niigata Football Association の略称を従来のNFAからNiFAに変更し、これを「ニーファ」と読みます。

また、新たなスタートを切るNiFAを象徴するシンボルマークを作成。4本の翼は新潟、上越、中越、下越の4地区協会を表し、新潟県の形も示しています。そして4地区協会の飛躍による新たな新潟のサッカーをGOALに向かうサッカーボールで表現しました。さらに濃いブルーは新潟の空と海、地域に根ざしたNiFAを表しています。NiFAはさまざまなシーンでこのシンボルマークを使用していきます。

NiFA の理念

サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、県民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

NiFA のビジョン

- 1.新潟県におけるサッカーの普及に努め、全ての県民がサッカーに親しむ環境を作り上げる。他の競技団体と連携し、スポーツをより身近なものとする事で、県民の健康で豊かな生活をサポートする。
- 2.新潟県を代表するチームが日本のトップレベルで活躍できるようサッカーの強化に努め、新潟県出身プレーヤーが国内外で活躍することで、県民に勇気、希望、感動をもたらす。
- 3.常にフェアプレーの精神を持ち、国内外の人々との友好を深め、社会に貢献する。

NiFA の目標 2015

2015年には、健全でゆるぎない組織となり、6つの目標を達成する。

- (1)新潟県内のサッカーファミリーが8万人となる。
- (2)Jリーグ、Lリーグに新潟県出身プレーヤーを合計で10人以上輩出し、日本代表フル代表、年代別代表等に選出される選手を輩出する。
- (3)各カテゴリーの全国大会において、新潟県チームのいずれかが常にベスト4以上の成績を修める。
- (4)JFLに加盟するチームを育成する。
- (5)各カテゴリーの全国大会、国際試合を誘致、運営する。

NiFA の目標 2050

2050年に向けて、組織基盤をさらに強固なものとし、2050年までに以下の目標を達成する。

- (1)新潟県内のサッカーファミリーが15万人となる。
- (2)Jリーグ、Lリーグに新潟県出身プレーヤーが合計10人以上存在し、日本代表フル代表、年代別代表等に選出される選手を輩出し続ける。
- (3)日本でFIFAワールドカップが開催される際には、サッカー専用スタジアムで試合を開催する。